

## 平成 29 年度 第 1 回環境計画推進パートナーシップ会議 議事録（発言要旨）

- 開催日時: 平成 29 年 5 月 24 日(水) 13:30～15:30
- 開催場所: 西宮市役所 東館 7 階 701 会議室
- 出席委員: 小川会長、清水副会長、樋口委員、江川委員、北村委員、那須委員、野島委員、野村委員、田邊委員、花田委員、山崎委員
- オブザーバー: 須山環境局長、加藤教育次長
- 事務局: 須藤環境総括室長  
(環境施設部)野田部長  
(環境事業部)橋本部長  
(環境・エネルギー推進課)山中課長、吉田係長、八木係長、藤原副主査、松井主事  
(環境学習都市推進課)藤原課長、田中係長、山本副主査、森園副主査  
(施設管理課)山村課長  
(施設整備課)永田課長  
(美化企画課)森川課長、加羅係長、吉岡係長  
((株)地域計画建築研究所(アルパック))中川、駒

### 1. 開催の挨拶

- ・現在の西宮市新環境計画の期間が、平成 30 年までであることから、本市では、2 年間を駆けまして次期環境計画を策定する大きな作業を控えている。また、当パートナーシップ会議内に専門部会を設けて、ご協議いただきたい。(環境局長)

### 2. 出席者紹介

### 3. 役員選出

- ・事務局提案により、会長には NPO 法人こども環境活動支援協会の小川理事に、副会長には、社会福祉法人西宮市社会福祉協議会の清水常務理事が選出された。

### 4. 西宮市の環境政策について

- ・8 つの環境目標の中の「国際協力」に関して、具体的な取り組み内容を教えてほしい。(委員)

→毎年、環境パネル展という展覧会を行い、様々な国の方からも作品を提供していただいている。国際的な環境の視点を市民の方にも知ってもらうための活動をしている。(事務局)

→JICA の海外の方への廃棄物研修を、こども環境活動支援協会が窓口となって実施してい

るが、それを市に支援してもらっている。環境事業部、環境施設部、環境学習都市推進課の担当者や、市内の事業所の方々など、たくさんの方に研修の講師をして頂いている。

(委員)

- ・ 「学びあい」の中で、子供から大人までとあるが、正直、退職後の年代の方や、子供がいない方には、どんな市民参加があるのかの情報が入らないのではないかと。子供向けの環境教育は色々とされており、子ども達はかなりレベルが高くなっているが、その一方で高齢者など市民参加の情報を入手できない人が増えているのではないかと。(委員)
- ・ 西宮市の環境学習等に利用できる施設や関連する施策等の広報を市政ニュースだけで発信しているのはもったいない。市政ニュースを読まない人、環境に関心のない人にも届くような工夫が必要かと思う。(委員)

## 5. 専門部会委員選出

### 【環境計画策定部会】

- ・ 個別の計画が3つあるが、その3つの計画において骨組みとなっているのが、市民の中の学びあいである。新環境計画の改定においても教育・学習の側面は重要なので、教育委員会の加藤次長にも必要に応じて策定部会にオブザーバーとして入っていただければどうか。(委員)

→検討したい。(事務局)

- ・ 部会については、提案の体制で進めていく。環境計画策定部会は、計画の骨組みになる部会だと思う。また、こういった策定体制を持っているのは、全国でもあまりない形なので、ぜひ西宮市らしい計画を作っていきたい。(委員)

### 【生物多様性推進部会】

- ・ 自然保護の観点で、少し専門的であると思うが、自然というのは、保護する側面とそこを活用する側面と両方の側面がある。専門的な視点だけでなく、市民が西宮市の身近な自然に「親しみを感じる」というレベルに持つて行くことが計画の目標でもあるので、そういう視点でも議論していきたい。(委員)
- ・ 過去の調査結果を見ても、市民が西宮市の自然を知らない・利用していない状況であることがわかる。やはり、身近な自然のことを知らない「守りたい」という気持ちを持つてないと思うので、市民が自然に親しみ・自然を守るようになるための戦略方針も作れたらと思う。(委員)
- ・ 部会の体制については、提案の体制で進めていく。(委員)

### 【エネルギー推進部会】

- ・ 社会情勢の変化の他、発送電分離や電力自由化、またエネルギー量の把握の仕方、計画として具体的な進捗管理が非常に難しいなど、難しい課題を抱えている。(委員)

- ・ 西宮は業務部門の排出量が占める割合が多い。PCやエアコンが増え、業務部門の削減は難しいが、普及啓発などから一つずつ進める必要がある。(委員)
- ・ 再生可能エネルギーについては色々と事例があるが、西宮市に適した方法を提案していきたい。(委員)
- ・ ソウルの市長は反原発派だと聞く。トップの意識が明確であればそれに応じた施策も考えられるが、現状、西宮では難しい。市民には、自ら省エネなどを考えるようになるためにも、まずは自分たちの使っている電気の電源構成は知っていただきたい。(委員)
- ・ 部会の体制については、提案の体制で進めていく。(委員)

#### 【廃棄物減量推進部会】

- ・ 現行の2本の計画を1本にする事や、西宮市と芦屋市が広域化して統合処理する話も動いているので廃棄物の分野も課題が多い。西宮の西部総合処理センターはいつ頃がタイムリミットなのか。(委員)
- 西部総合処理センターには、大きく分けて焼却施設、破碎選別施設、リサイクルプラザがある。破碎選別施設は平成36年、焼却施設は平成40年から新しい施設で、運営をしていく予定である。(事務局)
- ・ 施設の機能に応じたごみの収集・運搬システムになるので、お金の投資も大きな長期的視点が必要になる分野である。市民意識で、どうごみを減らしていくのかという議論もあるが、技術的な議論も含めて話をしていきたい。(委員)
  - ・ 行動を喚起するには、他人事と思っていれば動かないので、どれだけ自分の事と思ってもらえるかがポイントだと思う。また、全く知らない人は驚くほどわかってない場合があるので、そういう人に啓発することを考えたい。(委員)
  - ・ フィードバックの仕方だが、「市民がごみ減量をしたくなるような結果を見える化する」という事も考える必要があると思う。ごみ・エネルギーを環境学習の題材にしてみてもよいと思う。フェニックスなどの最終処分場の容量にも限りがあることを周知する必要もある。(委員)
  - ・ 部会メンバー表にオブザーバーとあるが、専門委員という位置づけではないか。(委員)
- 表現は検討する。(事務局)
- ・ 西宮市は、ごみ収集車がゲートを通る時点で重さを測っており、その数値を速やかに市民に公表するシステムを作っていた。その数値を地区ごとに集計して、「この地区はこのくらいごみが増えた」がわかると市民にも刺激的であると思う。(委員)
  - ・ 部会の体制については、提案の体制で進めていく。(委員)

## 6. 検討事項

### ●環境まちづくりフォーラムについて

- ・ 今年度と来年度は、改定作業があるので、環境まちづくりフォーラムを開催しないこと

でお願いしたい。また、改定作業の中でワークショップを開催予定なので、パートナーシップ会議の委員の皆様に参加・ご協力していただきたい。(事務局)

- ・ 環境パネル展やワークショップを開催する際に、市民に計画改定のことをPRしていきたい。また、各委員は、地域団体での会合などで、西宮市新環境計画の見直しについての現時点での議論の内容や、地域団体に求められていることなどについて、情報を提供していただきたい。(委員)

## 7. 連絡事項

### ●次回の開催日

- ・ 次回の本会の開催は、10月中を予定している。(事務局)
- ・ 各部会に関しては、廃棄物減量推進部会は6月9日、生物多様性推進部会は、7月19日(7月27日に変更)、環境計画策定部会7月26日、エネルギー推進部会7月20日を予定している。(事務局)
- ・ 部会の内容は、10月の本会に報告する。また、環境計画改定に係わり、環境像や新しい目標について議論していきたい。(事務局)